



2024年3月7日
株式会社 阿波銀行

岡本製麺株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、岡本製麺株式会社（代表取締役社長 岡本 英明、本社：徳島県板野郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	岡本製麺株式会社
所在地	徳島県板野郡板野町中久保字当部 46 番地
代表者	岡本 英明
業種	麺類製造業
設立	1962 年 2 月 1 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2024年3月7日



岡本製麺株式会社 代表取締役社長 岡本 英明

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	① (1)LED化の推進 (2)エネルギー使用量の把握・削減		
			② (1)2024年度までに導入率100% (2)工場・事務所のLED化実施 前年度比電力使用量3%減		
社会	環境問題への取組みの公表	情報開示を進め、自社の環境影響に関する透明性を高めます。	① 省資源や廃棄物削減等に関する取組み内容と取組実績の情報開示		
			② 2026年度までに開示体制を整え、その後ホームページ等で情報開示		
環境・社会・経済	社会・環境に配慮した消費の推奨・実践	社会・環境に配慮した商品の購入・消費を企業として推奨・実践し、「エシカル消費」を推進します。	① (1)備品・消耗品の環境配慮型製品への切替え (2)エシカル消費に関する従業員向け研修の実施		
			② (1)2024年度までに2製品切替 (2)年間2回実施		
社会・経済	ESG/SDGsの理解	外部研修の受講や社内での勉強会等で、CSR/ESG/SDGs等の知識を習得する機会を積極的に作ります。	① 従業員へのSDGsに関する教育研修の実施		
			② 年間2回実施		



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。